

ロシアは軍事行動をやめ、停戦・撤退せよ

子どもたちに平和を！杉並支部がロシア大使に緊急抗議要請

2022年3月1日

駐日ロシア大使

ミハイル・ガルージン 様

東京都教職員組合杉並支部

ロシアのウクライナ侵攻に強く抗議し、ただちに撤退、停戦を求めます

ロシア軍のウクライナへの侵攻は、「主権の尊重」「領土の保全」「武力の行使の禁止」を義務づけた国連憲章、国際法の基本原則にも反した侵略行為そのものです。軍事力によって他国の政府を転覆させることは絶対に許されません。またロシアも合意したミンスク合意（ウクライナ東部問題の平和的解決のために関係諸国で締結）を踏みにじる背信行為です。さらにプーチン大統領は、ロシアが核保有大国であることを繰り返し述べ、核兵器の使用にまで言及して国際社会を威嚇しています。これは核兵器廃絶に向かう歴史の潮流を無視する許しがたい行為です。国連安保理事会の常任理事国でありながら、自らの主張を通すために軍事力を行使したり、核兵器で威嚇したりする、プーチン大統領、ロシア政府の言動は重大な誤りであり、世界を危機に陥れる暴挙にほかなりません。私たちはロシア政府による国際秩序の破壊と人権侵害に強く抗議します。

シェルターに逃げ込んだ少年が、不安と恐怖にさいなまれながら「死にたくない」と言葉を絞り出す映像がテレビに流れました。普通に学校に通っていた子どもたちから、当たり前の日常と学びの場を奪い去り、シェルターや他国にまで追いやり、命まで奪っているのです。戦争は必ず憎悪の連鎖を生み出します。怯え疲れ切った子どもたちから敵国への憎悪などが生まれぬよう、直ちに戦闘行為をやめるべきです。

私たち日本の教職員は、76年前、焦土の中から立ち上がり、自らの過ちへの反省から「教え子を再び戦場に送るな」の言葉を胸に、戦後の民主教育の歩みを開始しました。その痛苦の思いを受け継ぎ、日本国憲法第9条を力に平和を守るため活動してきました。

ウクライナとロシアの子ども達を愚かな戦争に送らないために、ロシア政府は、ただちに軍事行動を中止し、ウクライナから撤退すること、外交交渉によって問題を解決することを強く求めます。

全教・都教組
杉並支部
ニュース

東京都教職員組合
杉並支部情宣部
2022年
3月2日
号外

Tel 3399-8719
Fax 3399-3855

職場からの発信
はEメールで



花には太陽を
子どもには
平和を



元のページに戻すには パソコン画面上部の ← をクリックします。